

鷺宮美幸

Washimiya Miyuki Piano Recital

名曲リサイタル

その情熱は名曲にのって

Program

バッハ：平均律クラヴィーア曲集第1巻 第1番 前奏曲 ハ長調 BWV846

ベートーヴェン：ピアノソナタ 第8番「悲愴」ハ短調 作品13

ショパン：ワルツ 第14番 ホ短調 遺作

ショパン：ノクターン 第5番 嬰ハ長調 作品15-2

ショパン：幻想即興曲 嬰ハ短調 作品66

プーランク：愛の小径

プーランク：村人たち

グラナドス：スペイン舞曲集 作品37より

アンダルーサ / オリエンタル / マズルカ

ガーシュイン：ラブソディ・イン・ブルー

2024. 5.18 土 14:00開演 (13:30開場)

稲城市立 i プラザホール (京王線若葉台駅徒歩1分)

一般 ¥3,000(前売り¥2,700) / 学生 ¥2,000

お問い合わせ/チケット取り扱い

スガナミ楽器(株)多摩店 042-375-5311

後援 スガナミ楽器(株)

鷺宮美幸 Washimiya Miyuki

7歳よりピアノ、作曲、バイオリンを始める。その後、桐朋女子高等学校を経て、桐朋学園大学ピアノ科入学。在学中、フランス音楽界の第一人者H. ピュイグ＝ロジェ氏の推薦で、パリに留学。帰国後、同大学を卒業。

第56回日本音楽コンクール入選を皮切りに、UFAM国際コンクール・室内楽部門第2位、日本室内楽コンクール第3位、国際ピアノデュオ・コンクール2台4手部門第2位(日本人最高位)など、多くのコンクールに入賞するとともに、トゥール国際アカデミーでは2年連続で最優秀受講生に選ばれた。

2013年には、Kris Foundationに招聘され、シンガポールで Metropolitan Festival Orchestra、指揮 Chan Tze Law とグリーグのピアノ協奏曲、ベートーベンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」を一夜で演奏し「The Straits Times」で絶賛された。2016年、第8回World Peace Classic Concertでは、新田孝指揮、Nippon Symphonyとラヴェルのピアノ協奏曲を演奏し、雑誌「音楽現代」で、“真の意味で実力者”と評価され、また、2017年にラフマニノフのピアノ協奏曲第3番を演奏し、“ヴィルトゥオーゾ”と評価された。「ピアノ&ピアニスト」(音楽之友社、2018年1月発行)の“日本の名ピアニストたち”にも選ばれた。

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のクリストフ・ハルトマン、イ・ムジチ合奏団のマッシモ・パリス、ヴィト・パテルノステル、またジャン・ワン、マクサンス・ラリュエ、レ・ヴァン・フランセのジルベール・オダン、ミッシェル・マイスキーなど、国内外の著名なソリストと共演。

NHK・BS「ぴあのピア」、NHK・FM「名曲リサイタル」にソロで、また室内楽、伴奏でも度々出演した。

これまでにピアノを寺西昭子、村手静子、T. パラスキヴェスコ、高木茉莉、松浪佳子の各氏に、室内楽をJ.M. ダマーズ、三善晃、H. ピュイグ＝ロジェ、クリスチャン・イヴァルディの各氏に、チェンバロを遠藤陽子氏に師事。

現在、ソリスト、室内楽奏者、オメガ・ピアノトリオのメンバー (Vn. 松実健太、Vc. 唐津健)として活躍。

昨年、CD「記憶の風景」(Pf. 鷺宮美幸 /ALCD-7291 コジマ録音)、一昨年ライブ録音のCD「鷺宮美幸ピアノ・リサイタル」(Pf. 鷺宮美幸 /ALCD-9235 コジマ録音)をリリース。またこれまでに「ワッシー・ファンタジア」(Pf. 鷺宮美幸 /DQC65 パスティエル)、「ショスタコーヴィチ」(Vla. マッシモ・パリス、Pf. 鷺宮美幸 /C00090 ダ・ヴィンチ・クラシック)など数多くCDをリリースし、いずれも高い評価を得ている。

2024年10月6日(日)稲城市立iプラザホールで、ヴァイオリニストのクリストフ・エーレンフェルナー氏とデュオコンサートを開催予定。

公式サイト ▶ <https://www.miyuki-washimiya.com/>

